

なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠

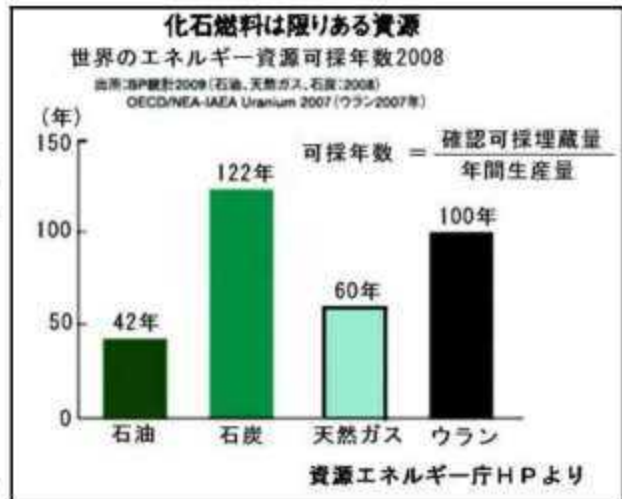
No.12

持続可能な社会を実現するために

1 地球環境問題と持続可能な社会

地下に眠る資源は、人類の暮らしに多くの貢献をしてきた。特に、18世紀にイギリスから始まった産業革命以降は、欧米や日本も多くの地下資源を消費して発展し、先進国の豊かさを保っている。その間、物質的に豊かになったが、公害問題も同時に経験してきた。

そして今、無限にあると思われてきた地下資源に「底」が見えてきた。地球規模で残りが少なくなってきたのである。このまま現代の人類が地下資源を使い続けると、21世紀の間にも地球上から地下資源はなくなってしまうかも知れない。たとえば、石油は化石燃料の一種であるが、2008年現在で可採年数は42年だとされている(その後、アメリカでシェールオイルやシェールガスの採掘が可能になり、石油や天然ガスの可採年数は若干延長された)。



では、途上国が先進国並に発展するための資源はないのか? 途上国の国々は先進国に資源を奪い取られたのに。資源の利用についての「南北問題」も深刻である。

ところで、人類だけで地球上に生きていくのではない。地球上では、多様な生物や大気、水、土壌などが有機的に結びついて物質循環を支えており、人類もまたその中でしか存在しえない。しかしながら、特に近年の人類の営みは、大気や水、土壌などを汚染し、生態系とその基盤である生物多様性に対して大きな打撃を与えた。地球の物質循環や生態系の破壊、ひいては人類社会の崩壊を回避するために、私たちは、地球という有限な器の中で「持続可能な社会」を築いていかねばならない。

「『持続可能』という理念は、国連の環境と開発に関する世界委員会(WCED)の最終報告書『地球の未来を守るために(Our Common Future)』(いわゆる『ブルントラント報告』)において提唱された(1987年)。「ブルントラント報告では、『持続可能な開発』とは『将来の世代のニーズを充たしつつ、現在の世代のニーズをも満足させるような開発』を言う」とされている。以後、「持続可能な開発」という考え方は世界中で広く用いられるようになった

(環境省『平成28年版 環境・循環型社会・生物多様性白書』p.68より)。

2 持続可能な開発目標 (SDGs) エスディー・ジーズ (国連発行『私たちが目指す世界』より)

2015年9月に、ニューヨークの国連総会で、世界の国々はSDGs(Sustainable Development Goals) エスディー・ジーズ サステナブル ディベロップメント ゴールズについて合意した。この合意により、貧困を終わらせ、すべての人が平等な機会を与えられ、地球環境を壊さずに、より良い生活を送ることができると世界を目指して、世界中が努力することが約束された。2016年から2030年までの15年間、世界中の国々はこのSDGsの達成に向けて取り組んでいくことになった。

目標1：貧困をなくそう … 世界中の、あらゆる形の貧困を終わらせる。

※ あらゆる形の貧困とは、お金がないだけではなく、教育や仕事や食料、水、病院、住むところなどの必要な物やサービスがない、あるいは受けられないことや、自分の意見を言えないなど、自分のもっている本当の力を十分に生かせないことも含まれる。

目標2：飢餓をゼロに キガ … 飢餓(長い間食べられず、栄養が足りなくなることをなくし、生きていくために必要な食料を安定して手に入れることのできる権利を保障し、栄養状態を良くして、持続可能な農業を進める。

目標3：すべての人に健康と福祉を … 何歳であっても、健康で、安心して満足以暮らせるようにする。

目標4：質の高い教育をみんなに … だれもが平等に質の高い教育を受けられるようにし、だれもが生涯にわたってあらゆる機会に学習できるようにする。

目標5：ジェンダー平等を実現しよう … ジェンダーが平等である(すべての人が性を理由に差別されない)ようにし、すべての女性や女の子に力を与える

目標6：安全な水とトイレを世界中に … 水と衛生的な環境をきちんと管理して、だれもが水と衛生的な環境を得られるようにする。

目標7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに ヨウキ … 価格が安くて、安定して発電でき、持続可能で近代的なエネルギー(薪や炭などを燃料とするエネルギーではなく、電気やガスなどのより新しいエネルギー)をすべての人が使えるようにする。

目標8：働きがいも経済成長も … 自然資源が守られ、みんなが参加できる経済成長を進め、すべての人が働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする。

目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう … 災害に強いインフラをつくり、みんなが参加できる持続可能な経済発展を進め、新しい技術を生み出しやすくする。

目標10：人や国の不平等をなくそう … 国と国の間にある不平等や、国の中での不平等を減らす。

目標11：住み続けられるまちづくりを … まちや人びとが住んでいるところを、だれもが受け入れられ、安全で、災害に強く、持続可能な場所にする。

目標12：つくる責任 つかう責任 … 持続可能な方法で生産し、消費する。

目標13：気候変動に具体的な対策を … 気候変動や、それによる影響を止めるために、すぐに行動を起こす。

目標14：海の豊かさを守ろう … 持続可能な開発のために、海や海の資源を守り、持続可能な方法で使用する。

目標15：陸の豊かさを守ろう … 陸のエコシステム(生態系。自然の生き物と、生き物が暮らす環境とが、バランス良くなりたっている仕組み)を守り、再生し、持続可能な方法で利用する。森林をきちんと管理し、砂漠がこれ以上増えないようにし、土地が悪くなることを止めて再生させ、生物多様性(たくさんの種類の生き物が複雑に関わり合い、様々な環境に合わせて生きていること)が失われることを防ぐ。

目標16：平和と公正をすべての人に … 持続可能な開発のため、平和でみんなが参加できる社会をつくり、すべての人が司法(法律に基づいた裁判や手続き)を利用でき、地域・国・世界のどのレベルにおいても、きちんと実行され、必要な説明がなされ、だれもが対象となる制度をつくる。

目標17：パートナーシップで目標を達成しよう … 実施手段(目標達成のために必要な行動や方法)を強化し、持続可能な開発に向けて世界の国々が協力する。